

本号の内容

1. 2007年度春季大会が開催されました
2. 学会賞の授賞が行われました
3. 2007年度の常任幹事会の体制について
4. 学会事務局の移転について
5. 2007年度秋季大会の概要について
6. 2006年度第3回幹事会議事要旨
7. 2007年度総会議事要旨

1. 2007年度春季大会が開催されました

2007年3月28日に沖縄国際大学において2007年度春季大会が開催されました。沖縄県に於ける地方開催ではありましたが、70名を超える参加者にご来場いただき、盛会のうちに閉幕いたしました。

| | |
|-----------|---|
| 【日 時】 | 2007年3月28日（水） 10：00～17：00 |
| 【場 所】 | 沖縄国際大学キャンパス 5号館1階107教室（沖縄県宜野湾市宜野湾2-6-1） |
| 【テーマ】 | 「市場対応型農政下の中国農業構造問題 - 誰が中国農業を担うのか - 」 |
| 【座 長】 | 酒井 富夫（富山大学） |
| 【報告者】 | 第1報告「改革開放政策下中国の経済発展と農業の課題」 横田高明（大阪産業大学） 第2報告「中国農政の転換と兼業農家支援体制の再構築」 菅沼圭輔（福島大学） 第3報告「高度経済成長下の中国農民階層構造 - 山西省と浙江省を事例として - 」 山本昌弘（鯉淵学園農業栄養専門学校） |
| 【コメンテーター】 | 張 安明（（社）農山漁村文化協会）、小田切徳美（明治大学） |

2. 学会賞の授賞が行われました

学会賞選考委員会における厳正な審査の結果、2007年度総会において、下記の2作品に対し学会賞が授与されました。

（1）学術賞

友田滋夫・安藤光義著、『経済構造転換期の共生農業システム - 労働市場・農地問題の諸相 - 』、農林統計協会、2006.9

（2）奨励賞

金子いづみ著、『集落営農の労働力構成』、農政調査委員会、日本の農業238、2006.3

3. 2007年度の常任幹事会の体制について

2007年度の常任幹事会の体制が下記の通り決まりました。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

- | | |
|----------|-----------------------|
| ・代表幹事 | 加瀬良明 |
| ・会員拡大担当 | 加瀬良明 |
| ・編集委員会担当 | 小林茂典 |
| ・学会賞担当 | 平野信之 |
| ・秋大会担当 | 平野信之（企画担当）、山浦陽一（事務担当） |
| ・春大会担当 | 加瀬良明（企画担当）、山浦陽一（事務担当） |

- ・ 庶務担当 鈴村源太郎
- ・ 事務局担当 久保田裕美、金子いづみ

4. 学会事務局の移転について

2006年度より学会事務局を(財)農政調査委員会に移転すべく試行的に移転手続きをとって参りましたが、2007年4月1日より学会事務局を正式に農政調査委員会内に置き、両者の間に「覚書」を締結することとなりました。

以降の学会の連絡先は下記の通りとなります。何卒ご承知おきください。

新連絡先: 〒114-0024 東京都北区西ヶ原1-26-3

農業技術会館4F (財)農政調査委員会内 農業問題研究学会事務局

電話: 03-3910-7223(代) **FAX:** 03-3910-7267

旧連絡先: 〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1

東京大学大学院 農学生命科学研究科 農業・資源経済学専攻内

農業問題研究学会事務局 電話: 03-5841-5458

5. 2007年度秋季大会の概要について

2007年度秋季大会の概要が決まりましたので、お知らせいたします。個別報告案内、大会案内等につきましては追ってご連絡差し上げます。前回大会同様、多数のご参加をお待ち申し上げております。

日 時: 2007年11月3日(土・文化の日)

会 場: 東京大学農学部1号館8番教室ほか

内 容: 個別報告+ミニシンポジウム

ミニシンポジウムテーマ:「2005年農業センサスによる農業構造分析」(仮題)

6. 2006年度第3回幹事会議事要旨

2007年度春季大会前日の3月27日(火)、那覇市ぶんかテンプス館3階第1会議室におきまして、2006年度第3回幹事会が開催されました。議事の内容は次の通りとなります。

(1) 総会議事内容の検討

総会議案の他に、2006年第2回幹事会で決定された大会予稿集の書式を配布することとした。それ以外の議事については、すべて了承された。

(2) 会費未納5年以上の者の退会処分について

会費未納者に対する大会処分案について、全会一致で承認された。

(3) 学会創立50周年記念出版

学会創立50周年記念出版企画の各巻の進捗状況は、第1巻5/9、第2巻10/11、第3巻6/13、第4巻3/8、計24/41の原稿が提出済となっている。今後、予定通りの発行に向け督促をかけていく予定。

(4) 学会賞

当初の締切期日では応募が少なかったため、2度にわたり期日を延長した。

2007年3月5日、農政調査委員会会議室において、午後6時半～9時まで選考委員会を開催した。

(5) 会員拡大について

会員拡大の増分は2005年度19名、2006年度15名、2007年3月6名の計40名であった。しかし、会費未納者等の除名を進めてた結果、2005年度9名、2006年度15名の退会者があり。以上が相殺されて、微増の結果となっている。学会創立50周年記念企画の一環として、会員拡大に取り組んだ成果はあったと考えている。

(6) 2006年度会誌刊行予定

第60号：2005年秋大会・投稿論文 2007年3月22日入稿
第61号：2006年春大会・投稿論文 2007年6月末入稿予定
その他：修正中3論文，受付保留1論文、書評執筆中5冊

(7) 編集委員・委員長

次期編集委員長 小林茂典（農林水産政策研究所）
新任の編集委員 山本昌弘（鯉洲学園農業栄養専門学校）、横田茂永（（社）JA総研）

(8) 編集委員会の事務局移転について

現在、編集委員会事務局機能を農政調査委員会に移転する方向で調整中

(9) 2007年度からの学会費の値上げについて

会費の値上げに際して、他学会の状況を調べるべき。特に学生の会費が高い可能性がないか確認してほしい。学生にとって1,000円UPは厳しくないかとの意見あり。
会費値上げの歴史的経緯（現在の価格で何年据え置かれたかなど）をまとめるべきとの意見あり。
会費値上げ案については、全会一致で承認された。
2007年度の会費は下記の通りとなります。

| 【年会費】 | (2006年度まで) | (2007年度以降) |
|---------|------------|------------|
| 一般会員 | 5,000円 | 8,000円 |
| 学生会員 | 3,500円 | 4,500円 |
| 【学会参加費】 | | |
| 一般会員 | 1,500円 | 2,000円 |
| 一般非会員 | 2,000円 | 2,500円 |
| 学生会員 | 1,000円 | 1,500円 |
| 学生非会員 | 1,500円 | 2,000円 |

7. 2007年度総会議事要旨

(1) 報告事項

2006年度の大会開催状況、幹事会開催状況、常任幹事会開催状況等について報告があった。
学会ホームページ（<http://wwwsoc.nii.ac.jp/nomonken/>）の開設について報告があった。
編集委員会の開催状況、英文投稿に対応するための執筆要領の一部変更、編集委員会機能の移転計画について報告があった。

会誌発行について、第59号を発行した旨報告があった。

会員数とその増減について報告があった。

【増加分】2006年度・期末会員数は310人（期首会員数より15人増加）

【減少分】2006年度減少会員数は15人

差し引き2007年度・期首会員数は295人 なお、3月26日現在の会員数は300人
会費納入状況について（2007年2月28日現在）

・2006年度会費納入対象者310人のうち、198人が2006年度分までの会費を納入済。

・5年以上の長期滞納者は13人、うち2005年度まで5年以上の滞納者は8人。

学会連絡先の変更について報告があった。

(2) 承認事項

2006年度決算案について承認された。

- ・会計監査の小野氏より、農政調査委員会への事務委託について、2006年度の試行結果に関する総括・検証の必要性、学会賞選考委員会を大会と別に単独で開催する必要性の是非、副賞の必要性の是非、学会組織上の不備（監事の未設置）について意見が出された。

- ・事務局側は、農政調査委員会への事務委託については、試行初年度だったということもあり、いろいろな課題が確認できている。それらを改善すべく検討する場を設けたい。学会賞選考委員会については現状の単独開催を見直す方向で検討を行いたい。副賞については、予算規模からしてそれほど大きな負担とは考えにくいので、当面継続したい。ご指摘のように予算上の問題で受賞数が制限されるようなことはないようにしたい。学会組織上の不備については、次期常任幹事会で前向きに議論を行っていきたいと回答。

2007年度新体制（幹事会・編集委員会・会計監査委員）について賛成多数で承認された。

新幹事（24名）

- 【北海道】・細山隆夫（北海道農業研究センター）・井上誠司（北海道地域農業研究所）
・小池（相原）晴伴（酪農学園大学）
- 【東北】・泉谷眞実（弘前大学）・冬木勝仁（東北大学）・津田涉（秋田県立大学）
- 【関東】・加瀬良明（明治大学）・小林茂典（農林水産政策研究所）
・鷓澤（金子）いづみ（農林水産政策研究所）・山浦陽一（日本農業研究所）
・千年篤（東京農工大学）・凶司直也（法政大学）・斉藤潔（宇都宮大学）
・久保田裕美（農政調査委員会）・平野信之（中央農業総合研究センター）
・鈴村源太郎（農林水産政策研究所）・友田滋夫（農村開発企画委員会）
- 【北陸・中部】・酒井富夫（富山大学）・三浦聡（名古屋大学）
- 【近畿】・松原豊彦（立命館大学）・櫻原正澄（関西大学）
- 【中国・四国】・板橋衛（広島大学）
- 【九州・沖縄】・辻一成（佐賀大学）・渡辺克司（鹿児島国際大学）

編集委員関係

- 新編集委員長 小林茂典（農林水産政策研究所）
- 新編集委員 山本昌弘（鯉淵学園農業栄養専門学校） 横田茂永（JA総合研究所）
- 会計監査 小野智昭（農林水産政策研究所） 西川邦夫（東京大学大学院）

学会費値上げの実施について承認された。

- ・事業のリストラを徹底的に行った後での会費値上げを行うべきとの意見あり。特に学生会員にとって、会費の値上げは大変重要な問題との認識がフロアから示された。
- ・事務局側は、会員拡大については戦略を持って努力をしてきた旨を説明。先の報告にあるように2年間で39名の拡大がみられた点等について理解を求めた。また、学会化以降の資金不足により、学会誌未刊行だった年の積み立てを取り崩している状況を説明した。まして、会誌発行の正常化、学会創立50周年記念事業（記念出版、記念大会の開催、会員拡大、HP開設、農問研ニュースの発行等）等、学会活動の正常化・充実化に取り組むためには会費値上げはやむを得ない状況を説明。
- ・また、事務局より、会計監査より指摘のあった学会賞選考委員会のあり方など、今後の学会運営の見直しの方向について説明を行った。

（3）討議事項

2007年度の事業計画について承認された。

- ・会議開催計画、会誌発行計画についてそれぞれ承認された。

2007年度予算案について承認された。

【連絡先】農業問題研究学会事務局

TEL:03-3910-7223 FAX:03-3910-7267 ((財)農政調査委員会内 担当：久保田)

E-mail：jimukyoku@noumonken.sakura.ne.jp